

2025 年度公益社団法人乙訓青年会議所

総務財政委員会 基本方針

総務財政委員会 委員長 山田 英孝

<p>委員会 設置背景</p>	<p>近年、在籍年数の浅いメンバーが役職を担う中、活動意識の差や経験が不足し、質の高い事業構築が行いづらく、それが一因となり影響力のある運動が行えていない現状があります。組織が永続的に存続しなくては、地域社会へ持続的な貢献をすることができません。また、質の高い運動が展開できなければ、地域により良い影響を与えることができません。精度の高い事業構築とこれまで受け継がれてきた組織体制と運営基盤と規則を守りつつ、社会の急速な変化と多様化するニーズに応え、より良い運動を展開し続けていく必要があります。</p>
<p>委員会 設置目的</p>	<p>規律ある組織体制と精度の高い事業構築で、組織のさらなる発展に貢献することを目的とする。</p>
<p>委員会 概要</p>	<p>1. 3月例会の開催 各種大会の意味合いを理解しているメンバーが少ない中、より良い運動を展開していく必要があり、メンバー一人ひとりがさらに成長するために、国際青年会議所や日本青年会議所などが開催する各種大会への理解を深める機会を創出することで、各種大会の参加意欲向上へとつなげます。</p> <p>2. 10月例会の開催 出向のスケールメリットを感じられないメンバーがいる中、これからもより良い運動を展開する必要があり、組織がさらに活性化するために、出向での経験や価値が組織の成長へとつながることへの理解を深める機会を創出することで、次年度以降へ向けた出向意欲の向上へとつなげます。</p> <p>3. 12月例会・褒賞授与式の開催 地域に必要とされる組織として、今後も地域の貢献に邁進していかなければならない中、これからも、より効果的な運動を展開する必要があり、組織のさらなる成長のために、1年間共に活動したメンバーと互いに敬意を示し、成果を称えあい、活動を振り返る機会を創出することで、次年度への活動意欲の向上へとつなげます。</p> <p>4. 役員・スタッフセミナーの開催 経験年数の浅いメンバーが増え、そのメンバーが役職を全うしなければいけない中、これまで通り地域により良い変化を与え続ける必要があり、質の高い組織運営を行うために、役員・スタッフが活動の方向性と役割を果たすことの重要性を理解することで、役員・スタッフ一人ひとりの役職者としての自覚と責任感の向上へとつなげます。</p> <p>5. 京都ブロック協議会会長公式訪問の開催 経験年数の浅いメンバーが増え、活動意識に差がある中、京都ブロック協議会の事業での経験を組織の持続的な発展へとつなげるために、京都ブロック協議会の理念や1年間の運動の方向性を伝え、連携・協力の意欲を向上させる機会を創り出すことで京都ブロック協議会での事業の参加意欲への向上へとつなげます。</p> <p>6. 総会及び理事会、正副理事長会議の設営 地域に影響力を与える運動を確保しなければならない中、これからも質の高い事業を展開する必要があり、質の高い運動をするために、効率的かつ効果的な会議運営を行うことで、精度の高い事業構築へとつなげます。</p> <p>7. 財政、コンプライアンス審査会の設営・運営</p>

	<p>地域に影響を与える組織とならなければならない中、地域からの社会的信用を得る必要があり、公益社団法人としての社会的責任を果たすために、綿密な予算編成と適切な財務運営やコンプライアンスを守ることで、健全な組織運営へとつなげます。</p>
<p>委員会 活動方針</p>	<p>総務財政委員会メンバー自身が委員会活動を牽引するリーダーだという誇りをもち、組織の底上げを果たし、さらなる発展のため、尽力してまいります。そのために、メンバー一人ひとりが秩序や規律を守り、青年会議所が提供する成長の機会を通じて自ら学び、成長することで、他の委員会の模範となるような委員会運営に邁進してまいります。</p>
<p>委員会 スローガン</p>	<p>「PRIDE～誇りをもち、組織の成長を実現～」</p>